

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

令和4年4月19日（火）

3. 調査の対象

泉佐野市立佐野中学校 第3学年，全生徒

実施生徒数（ 207人 ）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語、算数・数学及び理科。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの教科に関し、以下のとおりとする。

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

ウ 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととし、出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

(3) 学校の取組に関する調査

調査対象の児童生徒が在籍する学校を対象に、学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施する。

※平成29年度より、文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は、整数となっております。

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

- ・正答数の分布状況は、全国や大阪府と比べると、上位層が少なく、中間層が多い傾向がみられる。また、平均正答率は「思考力・判断力・表現力等」において、特に下回っている状況にある。

平均正答率（本校 63／泉佐野市 63／大阪府 67／全国 69.0）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫することに、課題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1ー スピーチの一部を呼びかけたり問いかけたりする表現に直す（本校 64.7/全国 74.7） <p>○論理の展開などに注意して聞くことに関して、正答率が全国平均を下回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1二 話の進め方のよさを具体的に説明したもののとして適切なものを選択する（本校 52.7/全国 65.1） <p>○自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すことに課題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1三 スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く（本校 41.1/全国 51.8） <p>【読むこと】</p> <p>○場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することに課題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3四 「おれ」は何を「なるほど」と思ったのかについて、話の展開を取り上げて書く（本校 59.4/全国 73.8） 	<p>【書くこと】</p> <p>○自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2三 農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える（本校 37.2/全国 46.5） <p>【言葉の特徴や使い方に関する事項】</p> <p>○表現の技法について理解することに課題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3一 「陽炎みたいに揺らめきながら」に使われている表現の技法の名称を書き、同じ表現の技法が使われているものを選択する（本校 64.3/全国 52.5）

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く） [1時間以上]	11.8	12.4		0.6
読書は好きですか [当てはまる]	60.2	68.2	◇	8.2
国語の勉強は好きですか [当てはまる]	45.5	61.9	○	16.4
国語の勉強は大切だと思いますか [当てはまる]	84.8	93.2	◇	8.4
国語の授業の内容はよく分かりますか [当てはまる]	76.8	81.2		4.4
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか [当てはまる]	82	89.7	◇	7.7
今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか [全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した]	63.0	77.3	○	14.3

○「知識・技能」の面では、学習内容の定着が見られる。

○記述式の問題は、無回答率が3問とも20%以上あり、全国平均より10%以上高い結果となっている。

○初見の記述問題を解答することに対して、自信のない傾向があると考えられる。

○普段の授業での意欲的な姿勢と、学習状況調査の結果とに、開きがある。

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数が全国と比べ低く、上位層が少なく、中位層・下位層に偏っている傾向がみられる。
平均正答率（本校 43／泉佐野市 45／大阪府 51／全国 51.4）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学	特徴がみられた設問
【数と式】 ○理由や考えなどを説明・表現することに関して、無答率が全国平均と比べて高い。	6（2）差が4である2つの偶数の和が、4の倍数になることの説明を完成する。 (36.4/48.7)
【関数】 ○事象を数学的に解釈し、問題の解決方法を数学的に説明することに関して、無答率が全国平均と比べて高い。	6（3）ある偶数の和である $2n+2=4n$ について、予想した事柄を表現する。 (27.3/37.6)
【図形】 ○筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することに関して、無答率が全国平均と比べて高いが正答率は同程度である。	8（2）目標の300kgを達成するまでの日数を求める方法を説明する。 (31.1/38.4)
【データの活用】 ○箱ひげ図から分布の特徴を読み取る問題について、正答率が全国平均と比べて約18%低い。	9（2） $\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和が 30° になる理由を示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることの説明を完成する。 (12.0/12.5)
	7（2）箱ひげ図の箱が示す区間に含まれているデータの個数と散らばりの程度について、予想した事柄を表現する。 (26.3/44.1)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は大切だと思いますか	80.6	86.6	◇	6
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	72.0	76.5		4.5
数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	43.6	47.3		3.7
数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	76.3	79.6		3.3
今回の数学の問題では、言葉や数、式を使って、説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	90.5	94.7		4.2
解答時間は十分でしたか（50分）	78.2	71.0	◇	7.2

- レポート課題などを出し、表現力や説明力をつけるような取り組みはしているが、理由を説明したり、考えを文章や式で表現したりする問題の無答率が、全国平均と比べて高い。それが十分ではないのか、有効性に欠けるのか、この分析から判断することは難しいが、継続して表現力や説明力を養っていく。
- データの活用に関する問題で正答率が低かった理由として、この学年はコロナで1年生の初めは休校していた関係で、データの活用を最初に持ってきたことが考えられる。
- 「解答時間は十分でしたか（50分）」の項目が全国平均より高いが、無答率も全国平均より高いため、何も書かずに諦めてしまい、結果として「解答時間は十分だった」という回答が多いのではないかと考えられる。

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（理科）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数が全国、大阪府平均ともに下回っていて、全国と比べて下位層が多い。

平均正答率（本校 41 / 泉佐野市 42 / 大阪府 47 / 全国 49.3）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

理科	特徴がみられた設問
〔地球〕 ○玄武岩の露頭で化石が観察できるかを問うことで、岩石に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる。	6（1）玄武岩の露頭で化石の観察が可能か判断し、その理由を選択する。 (53.1%/48.0%)

3. 学習状況調査より

質問項目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は好きですか	73.4	66.4	◇	7.0
理科の勉強は大切だと思いますか	75.8	76.8		1.0
理科の授業の内容はよく分かりますか	82.9	75.2	◇	7.7
理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	53.5	52.7		0.8
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	57.9	71.5	○	13.6
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	22.7	22.1		0.6
理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	37.4	64.5	○	27.1
理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	46.9	78.9	○	32
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	43.1	68.1	○	25

○理由を説明する問題での無回答率が全国、大阪府平均と比べて高くなっている。記述する力、説明する力、考える力を育成する必要があると考える。

○理科の勉強、授業に対しては全国に比べて肯定的な回答が目立った。理科に対して意欲的に取り組む生徒が多いのではないかと考えられる。

○理科に対して肯定的な回答が目立った一方で、「将来に役立つか」という質問は全国より13.6%下回っていた。理科を身近に感じていない可能性がある。

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）。また、時間に関する質問は6択である。（1. 4時間以上 2. 3時間以上、4時間より少ない 3. 2時間以上、3時間より少ない 4. 1時間以上、2時間より少ない 5. 1時間より少ない 6. 全くしない）。1と2の合計を全国と比較して5%以上の差があるものを取り上げている。

下記の表には全国と比較して5%以上の差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	<p>毎日同じくらいの時刻に寝ていない割合が増えている</p> <p>また、3時間以上のテレビゲームやスマートフォンの使用が増えている</p> <p>コロナ禍が原因かは分からないが、子どもが地域の行事に参加する割合が減っている</p>	<p>(1) 朝食を毎日食べていますか <83.4/91.9></p> <p>(2) 毎日同じくらいの時刻に寝ていますか <69.6/79.9></p> <p>(5) 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか <47.4/29.8></p> <p>(6) 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどのくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか <44.0/29.5></p> <p>(9) 将来の夢や目標を持っていますか <60.7/67.3></p> <p>(11) 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか <71.1/67.1></p> <p>(29) 今住んでいる地域の行事に参加していますか <19.9/40.0></p>
【家庭学習の様子】	<p>家庭学習をする時間が増えている</p> <p>学校でも家庭学習を推進するように宿題を出している</p> <p>読書が好きだと答えた生徒が、全国に比べ8%も少ない</p>	<p>(21) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む) <43.6/35.2></p> <p>(22) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む) <26.1/20.6></p> <p>(26) 読書は好きですか <60.2/68.2></p>

<p>【学校での生活の様子】</p>	<p>部活動に参加している生徒の割合が少ない</p>	<p>(13) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか <97. 6/96. 4></p> <p>(31) <u>放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか学校の部活動に参加している</u> <59. 7/73. 9></p> <p>(43) 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか <73. 0/78. 7></p>
<p>【学校での学習の様子】</p>	<p>タブレットを使用した授業や調べ学習が積極的に行われた</p> <p>一方、話し合い活動については、コロナ禍も影響してか、班での活動などが難しく、お互いの意見交換などの活動が少ない</p>	<p>(33) 学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC、タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか（インターネット検索など）1ほぼ毎日、2週3回以上、3週1回以上の割合 <81. 1./71. 7></p> <p>(42) 1.2年生の時に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか <69. 1/75. 3></p> <p>(45) <u>総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか</u> <62. 1/72. 1></p> <p>(46) <u>あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、お互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか</u> <66. 3/76. 8></p> <p>(47) 学級活動における話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか <66. 4/71. 7></p> <p>(48) <u>道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動にとりくんでいますか</u> <73. 5/85. 5></p> <p>(61) 理科の勉強は好きですか <73. 4/66. 4></p> <p>(63) 理科の授業の内容はよく分かりますか <82. 9/75. 2></p> <p>(68) <u>理科の授業で観察や実験の結果をもとに考察していますか</u> <46. 9/78. 9></p>

本校の取組

◎これまでの取組

本校では、「人権尊重の精神に満ち、豊かな感受性を兼ね備え、自ら行動できる人間の育成」を教育目標に掲げ、教育活動を推進しています。

本校のめざす生徒像は、①自ら考え、判断し、主体的に行動することができる生徒②互いを尊重し、認め合い、力を合わせ行動することができる生徒③自らのことをありのまま受容し、健やかな心身をめざし行動することができる生徒④将来に展望を持ち、自ら切り拓き、夢の実現に向け行動することができる生徒です。豊かな人権感覚を身につけ、互いに認め合うことができ、基礎的な学力を身につけ、他者と協働し、自ら考え行動できる子どもの育成をめざしています。

教育目標を達成すべく、本年度5つの重点課題を掲げています。1つめの重点課題は、「集団づくり・仲間づくりの充実」です。コロナ禍で学校行事が減少している中ですが、各学年工夫を凝らしながら集団づくりを意識した学級経営、学年経営と組織的な学校運営をめざしています。1年生のディキャンプでは、登山や学年レクレーションを通して、仲間との絆を深めました。体育大会では、学年種目等について各学級で生徒同士が意見交換をするなど、生徒の主体的な活動がみられました。

2つめの重点課題は、「豊かな人権感覚の育成」です。本校では、毎年沖縄慰霊の日が近くなると、どの学年でも沖縄戦について学習します。今年度、1年生では『沖縄戦とは』、2年生では『ガマの体験』について、3年生では『基地問題』などにとりくみ、戦争の悲惨さや平和の尊さについて考えました。

また、2年生は職場体験が中止になりましたが、社用紙について学習し、「おかしい」と気づくことと知る事の大切さについて学びました。本校では、今年度より修学旅行の行き先が長崎に変更になり、長崎での被爆者からのききとり、フィールドワークなどを実施し、命の大切さについて学びを深めました。

3つめの重点課題は、「授業改善の推進」です。学力向上委員会では、5つのアクションプランに分け、全職員がどこかのアクションプランに入っています。①安心安全推進②家庭学習推進③授業学力向上推進④進路保障推進⑤地域社会連携推進の5つです。①安心安全推進では、毎月とっているいじめアンケートをもとに、生徒への声掛けとききとりを実施し、全教職員で共有をしています。これらにとりくみを通して、「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか」に対して、当てはまる、どちらかといえば、当てはまると答えた生徒が、全国96.4本校97.6と1.2高い結果でした。②家庭学習推進では、基礎的な学力をつけるため、家庭で復習や予習が行えるよう、毎週末課題の宿題を出して、生徒の家庭学習の定着をはかっています。③授業学力向上推進では、次の時間に使用しやすいように、クロムブックを使用した後の整理整頓を意識づけています。「学校で授業中に自分で調べる場面で、PCやタブレットなどのICT機器をどの程度使用していますか」に対して、ほぼ毎日、週3回以上、週1回以上が、全国71.1本校81.1と9.4高くなっています。

④進路保障推進では、自分の将来を自分で考え、将来に向けての展望を持てるよう進路学習を進めています。⑤地域社会連携推進では、地域社会と協働して生徒をはぐくめるよう、放課後に地域のボランティアの方に来ていただいて、学習支援を行っています。

4つめの重点課題は、「不登校の子どもたちや保護者へのかかわりの充実」です。生徒支援コーディネーターが作成した、『不登校対応チャート』をもとに、学級担任及び学年教職員と連携し、不登校の子どもたちや保護者と関わりを持ち、継続的に情報共有したり相談に乗ったりしています。

5つめの課題は、「自主活動の推進」です。生徒が自ら考え、とりくむ活動を充実させるため、生徒会や委員会の活発な活動を推進し、より良い学校づくりをめざしています。

◎これからの取組

「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして、解決方法を決めていますか」に対して、全国76.8本校66.3と10.5と差が大きく、ICTの活用は増えてきているが、話し合い活動が少なくなっている課題がある。授業だけではなく道徳や総合などでも自分の意見を相手に伝え、相手の意見も聞き、お互いに良い解決方法を考える活動を取り入れる必要性があります。また、佐野中スタンダードに基づき、教職員が教室整備を意識し、生徒が学習に向かいやすい教室環境を整えることを意識したいと思います。